



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1869号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 矢岸 克行 幹事 森崎 祐治



広重版画より 三島 朝霧

第1932回例会

2012.5.24晴

司 会

瀬川幸信君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 石井良衛君

会長挨拶

副会長 渡邊雅晃君

次年度R I 会長テーマ

奉仕を通じて平和を Peace through Service

地区運営指針

クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう

地区協議会・高野孫左エ門ガバナーエレクト挨拶より

田中R I 会長エレクトは、日本から選出されたガバナーエレクトを前に、「あなたは何故ロータリアンなのか答えられるようにして下さい」と問い掛けられました。

何故ロータリアンなのか、それは自らの仕事に「超我の奉仕(Service above self)」の考え方を定着・実践することにより「心の平安(平和)」を求めることができるから、そしてロータリー・クラブとは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる(One profits most who serves best)」と考える人々の集まりだからです。

クラブは同好会でもなく、仲の良い友達同士の懇親の場でもありません。クラブに入会することによって知り合うことのできた仲間から様々な刺激を受け、或いは刺激を与え、お互いにお互いの知見を広めていくことを可能としてくれる場、それが、例会が提供してくれる魅力ではないでしょうか。受けることのできる刺激、与える価値のある刺激を会員同士が確認できる関係を継続するためには、自らの職業活動にあっても、社会生活にあっても誠実であることが求められます。

あなたのクラブを活性させましょう

個々のクラブを活性するための仕組みはたくさん与えられています。分区単位ではクラブをつなぐ役割をガバナー補佐の皆様が担って下さいます。その分区をつなぐ役割を地区(ガバナー)が担います。

それぞれのクラブにはそれぞれの環境と歴史があり一様ではありませんし、自らの活性を可能とする得意分野はそれぞれ異なるもの、と推察いたします。その得意分野で行動を起こして下さい。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 紀平幸一君(伊豆中央RC)

水谷隆一君(伊豆中央RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	46/53	86.79%	50/53	94.34%
今回	46/52	88.46%	会員総数	54名

欠席者 石井(彰)君、窪田君、佐野君、橋本君、花房君、柳田君

幹事報告

幹事 森崎祐治君

- ①黒田会員と野田会員のお母様がそれぞれ5月18日、20日にお亡くなりになりました。心よりお悔やみ申し上げます。
- ②当クラブ40周年に贈られた品のご報告
苗栗RCより紹興酒、苗栗東南RCより花瓶、また酒田東RCより清酒が当クラブへ贈られました。このお酒は、さよなら例会で皆でいただくことにします。
- ③パスト会長会議について
本日18時30分から松韻にて開催いたします。
- ④次週5月31日は通常例会です。卓話は石井彰君です。また当日は御殿場RC45周年式典があり、会長、幹事で出席いたします。

2011~2012年度
国際ロータリー会長
カルヤン・パネルジー

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

おめでとう

会員誕生日 小野(金)君
入会記念日 亥角君
結婚記念日 原君、千葉君

スマイルボックス

- ◆平出君、5月8日に二人目の孫が生まれました。今度は男の子でした。前回スマイルするのを忘れてしまいました。
- ◆水谷君(伊豆中央RC)、三田さん、川名さん、前田さん入会おめでとうございます。これからもよろしく願います。
- ◆黒田君、先日の母の通夜、告別式にお忙しい中ご出席を賜り誠にありがとう御座いました。又、受付のお手伝いも頂きました事に厚くお礼申し上げます。
- ◆野田君、義母の突然の旅立ちで思考停止に陥り行き届かない点多々ありましたが、関係の皆様のご助力と三島西クラブの皆様のご厚情のお蔭をもちまして何とか葬儀を終えることができました。ロータリアンでよかったとしみじみ思えるひとコマでした。
- ◆矢岸君・瀬川君・遠藤(正)君・千葉君・平出君・室伏君、平成24年度三島市国際交流協会総会において、会長に平出利之、副会長に矢岸克行、瀬川幸信、会計に千葉慎二、理事に遠藤正幸、室伏勝宏が選任されました。是非とも、国際交流協会に多くの皆様の入会を心待ちにしております。
- ◆Eテーブル、昨夜、関本照文テーブルマスターのもと、テーブル会を開催しました。おいしいイタリアンとワインでした。ありがとうございました。
- ◆渡邊(芳)君、御殿場バラ祭りの案内を配布させて頂きましたのでよろしく願います。2400坪の畑にバラが咲き乱れています。入場無料、駐車場完備ですので是非見に来てください。
- ◆前田(房)君、社用で早退します。



4月22日(日) 地区協議会

於:甲府

(週報担当:田熊幸代)

卓話

親睦一座『一本刀土俵入り』の感想

石井良衛君

演劇を終えて、台湾の苗栗ロータリーをはじめ、当クラブ外の皆さまに熱い言葉をかけられて、「やってよかったのかな」と思いました。大学とテレビで演出を学んできた自分にとって、演じる側というのは、初めてでしたがまわりの演者のおかげで楽しむことができました。もうロータリーで役を演じることはありませんが、小劇場で昔の友と舞台をやってみたいという気持ちが湧き出た、今回の芝居でした。

栗原達治君

還暦を過ぎ、家族に『最近物忘れがひどくない?』といわれる私に、辰三郎の役が回ってきました。物忘れがひどいのに、せりふを覚えなければなりません。覚えた端から忘れていきます。ある日の練習でそのことをもらしますと、『辰三郎のせりふは数は少ないが、一つのせりふの長さは一番長いんじゃない?』といわれ、台本を見るとなんと4行にもわたっているものがありました。物覚えの悪さを、せりふの長さのせいにして、それからはリラックスして何とか終えることができました。皆様、つたない芸をごらん頂きましてありがとうございました。

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 鈴木郁夫君

先週例会終了後、鈴木正二副委員長と箱根の里にありまます苗栗の苑の現況視察に行っていました。苗栗の苑は1987年(昭和62年)に設置されました。当時すでに姉妹クラブでありました、台湾苗栗RCの栗という字にちなみ栗の木を植樹して「苗栗の苑」と名付けました。会員一人当たり1本合計70本の栗の木を植樹し、同時に会員寄贈の「苗栗の苑」と書かれた記念碑も設置いたしました。現在では16,7本の栗の木が残り高さ数メートルにまで成長しております。現在整備は箱根の里で行っていただいておりますが、日ごろの適切な管理により大変よい状態で整備されておりました。ただ「苗栗の苑」の石碑の両脇にあります2本の大きな栗の木が枯れているように思われました。この木は伐採の必要性があると思われませんが、減少しつつある栗の木に対する対応とともに今後の課題と思われました。